令和元年度事業報告

**1．概　　要**

我が国は現在「超高齢社会」と呼ばれるほど高齢者の人口が増加しており、現役世代の労働人口が減少していく中、社会の発展を維持していくためには、働く意欲と能力を持った高齢者が地域の担い手となり、社会を支えていくことが必要となってきています。

このような状況の中、健康で就労意欲のある高齢者に、「臨時的かつ短期的または軽易な就業」を提供することにより、生きがいの充実、社会参加による地域社会の活性化に寄与するシルバー人材センターの果たす役割はますます重要となります。

当シルバー人材センターにおいても、「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、「会員の増強」、「就業機会の確保・拡大」、「安全・適正就業の徹底」等を推進するとともに、会員・役員・事務局職員が一丸となって、地域に信頼され魅力あるセンターとなるよう努めた結果、目標の８２６人には達しなかったものの、令和元年度３月末日には、平成２２年度以来７００人を超える（７１４人）会員となりました。

　また、本年度から、就業は困難であるが会員としてとどまり、多様な地域社会参加活動を通じて、健康を維持し、生きがいの充実等の推進を図ることを目的とした「ゴールド会員制度」を創設しました。

事業実績につきましては、請負・委任の受注件数２，２１６件、契約金額１６８，５６４，３１７円、就業率７０．６％、労働者派遣事業の受注件数１８件、契約金額１４，２７４，９９５円となっています。

**２．会　　議**

　センターの事業は、定時総会、理事会（役員会）の決定に従い執行されました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会議等 | 開催日 | 主な内容 | 開催場所 |
| 監　　査 | 令和元年5月8日 | 1. 令和元年度定期監査
 | 当センター事務所 |
| 第 1 回理 事 会 | 令和元年5月17日 | 1. 平成30年度事業報告
2. 平成30年度決算報告
3. 監査報告　監事
4. 役員（理事・監事）の選任について
5. 定時総会の招集等に関する事項について
6. 会員表彰について
7. 会費規程の一部改正について
8. ゴールド会員に関する要綱の制定
9. 専門委員会設置規程の一部改正について
10. 報告事項
 | 和歌山市あいあいセンター3階　会議室第1 |
| 定時総会 | 令和元年6月14日 | 1. 平成30年度事業報告
2. 令和元年度事業計画
3. 令和元年度収支予算
4. 平成30年度決算承認の件
5. 監査報告
6. 会員会費規程の一部改正について
7. ゴールド会員に関する要綱の制定
8. 専門委員会設置規程の一部改正について
9. 役員（理事・監事）選任の件
 | 和歌山商工会議所4階 大ホール |
| 第 2 回理 事 会 | 令和元年6月14日 | 1. 理事長、副理事長及び専務理事の選定
 | 和歌山商工会議所4階　第3会議室 |
| 第 3 回理 事 会 | 令和元年10月25日 | 1. 令和元年度第1回補正予算
2. 配分金の改定について
3. 事務費の改定について
4. 公共施設会員就業基準の一部改正について
5. 報告事項
 | 和歌山市あいあいセンター4階　会議室第6 |
| 第 4 回理 事 会 | 令和元年12月20日 | 1. 職員の給与に関する規程の一部改正について
 | 持ち回り決議 |
| 第 5 回理 事 会 | 令和2年3月19日 | 1. 令和元年度第2回補正予算
2. 令和2年度事業計画
3. 令和2年度収支予算
4. 報告事項
 | 和歌山市あいあいセンター4階　会議室第6 |

**３．知識・技能講習会の開催**

会員の就業職種の転換も視野に入れた、就業に必要な知識や技能の向上、安全・適正就業基準、作業別安全･適正就業基準、会員就業規則の徹底などに関する各種講習会を開催しました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 講習会内容 | 開催日 | 開催場所 | 参加人員 |
| 整理収納・掃除講習会 | 令和元年12月13日 | 和歌山市あいあいセンター3階会議室第1 | 21名 |
| 接遇研修 | 令和元年12月14日 | 和歌山市あいあいセンター3階会議室第1 | 26名 |
| 接遇研修 | 令和元年12月21日 | 和歌山市あいあいセンター3階会議室第1 | 14名 |
| 特殊車両（パッカー車）使用講習会 | 令和元年12月18日午前の部 | 和歌山市福島市民スポーツ広場 | 15名 |
| 特殊車両（パッカー車）使用講習会 | 令和元年12月18日午後の部 | 和歌山市福島市民スポーツ広場 | 5名 |
| 植木剪定（樹木）実技講習会 | 令和2年2月26日午前の部 | 和歌浦　御手洗池 | 27名 |
| 植木剪定（松等）実技講習会 | 令和2年2月26日午後の部 | 和歌浦　御手洗池 | 22名 |

※以下の講習会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止しました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 草刈機安全使用講習会 | 令和2年3月3日午前の部 | 和歌山市勤労者総合センター　4階　視聴覚室 | 中止 |
| 草刈機実技講習会 | 令和2年3月3日午後の部 | 和歌山市福島市民スポーツ広場 | 中止 |

**４．高齢者活躍人材確保育成事業（「生涯現役社会」の実現を支援する技能講習会等）への協力**

　　　　　高齢化や労働力人口の減少が進行する中、人手不足分野や現役世代を支える分野における高齢者の就業の促進を目的とした、（公社）和歌山県シルバー人材センター連合会（以下「県連合会」という。）が主催の講習会等に協力しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 講習会等内容 | 開催日 | 開催場所 |
| ときめき女性セミナー「60歳から始めるすっきりキラキラ人生」 | 令和元年9月4日 | ダイワロイネットホテル和歌山 |
| 接遇マナー・パソコン講習 | 令和元年9月9日～9月11日(3日間) | 和歌山県勤労福祉会館　プラザホープ |
| 生活支援・清掃補助講習 | 令和元年9月11日～9月13日(3日間) | 和歌山県勤労福祉会館　プラザホープ |
| 就業体験 | 令和2年1月27日～1月29日(3日間) | 就労継続支援A型事業所ヤングブレイン |

**5．後継者育成事業講習会への協力**

　　　　　植木等剪定作業を行う会員が高齢化により年々減少しているため、県下で継続的に剪定講習会を実施し後継者の育成を行うため、紀北第2ブロック（和歌山市、海南市）で県連合会が開催（令和2年2月12日～14日［3日間］）した講習会に協力しました。

**６．広報**

　センター事業の目的や事業内容を広く周知するため、以下の普及啓発活動を行いました。

（1）就業開拓委員会が中心となり、センター独自のチラシ及びポケットティッシュを、和歌山市老人クラブ連合会が主催する「令和元年度和歌山市高齢者保健福祉振興大会」（9/6開催）、「令和元年度市老連スポーツ大会」（10/4開催）の参加者に対し、大会会場で役職員、会員で配布し、普及啓発を行いました。

（2）県連合会主催「ときめき女性セミナー」（9/4開催）に、全面的に協力し、参加者に対し普及啓発を努めるとともに入会を促進しました。

（3）センターが、指定管理者として管理運営を行っている「西庄ふれあいの郷」で報道各社の取材に協力し、掲載、放映、放送されました。

（4）ホームページを随時更新し、更なる就業開拓の拡大、会員の獲得に努めるとともに公益法人として業務内容、財務諸帳表等の資料を掲載し、情報提供を行いました。

（5）当センターが作成したチラシを和歌山市各支所・連絡所・サービスセンターまた紀三井寺ガーデンホテル「はやし」にポスター及びチラシを設置し、シルバー人材センターの仕組みを広く理解していただき、より一層市民に利用していただくとともに、高齢者の入会に努めました。

（6）センターが、指定管理者として管理運営を行っている「西庄ふれあいの郷」のイベント参加者及び来園者にチラシを手渡し、普及啓発を行いました。

（7）県連合会の広報活動（テレビ和歌山、和歌山放送、市報わかやま等）に全面的に協力し、就業開拓及び会員獲得に努めました。

（8）「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間(10/1日～31日まで)」に合わせ、地域班で、以下の通り普及啓発活動及びチラシの配布等を行いました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施日 | 実施内容（参加人数、配布部数等を含む） | 実施場所等 |
| 令和元年10月10日 | 楠見地区地域班神社境内の落葉清掃作業参加者　会員及び職員　14名会員紹介キャンペーン、会員募集中のチラシ配布協力依頼（部数各200部） | 伊久比売神社 |
| 令和元年10月15日 | 木本地区地域班神社境内の落葉清掃及び枝切、除草作業参加者　会員及び職員　33名会員紹介キャンペーン、会員募集中のチラシ配布協力依頼（部数各200部） | 木本八幡宮 |
| 令和元年10月23日 | 有功・直川地区地域班歩道の清掃作業参加者　会員及び職員　18名会員紹介キャンペーン、会員募集中のチラシ配布協力依頼（部数各200部） | 県自動車学校から六十谷橋までの歩道 |
| 令和元年10月28日 | 川永・山口・紀伊地区地域班神社境内の落葉清掃及び枝切、除草作業参加者　会員及び職員　11名会員紹介キャンペーン、会員募集中のチラシ配布協力依頼（部数各200部） | 府守神社 |
| 令和元年10月30日 | 西脇・加太地区地域班歩道の清掃作業参加者　会員及び職員　10名会員紹介キャンペーン、会員募集中のチラシ配布協力依頼（部数各200部） | 松源西庄店から三ツ池下までの歩道 |

　※本町・城北地区（10/13）及び貴志地区（10/29）の清掃ボランティアが予定されていましたが、悪天候のため中止となりました。

**７．会報『和歌山市シルバーだより』の発行**

　当センターの事業内容を掲載した広報誌「和歌山市シルバーだより」を2回発行し、関係機関に配布及び地域班長を通じ会員に配布しました。

**８．入会説明会**

高齢者で豊かな経験や技能を生かすことのできる会員の増強を図るため、定期入会説明会を６回開催、また、各コミュニティセンター（南・河西・河南・北・中央・河北・東部）、紀伊地区会館の8か所において、出前による入会説明会を開催し、延べ65名の参加がありました。

**９．未就業会員相談会の実施**

本年度より、就業開拓委員会が中心となり、平成31年4月1日から7月31日までの4か月間、未就業会員を対象に9月9日から9月24日まで各コミュニティセンター（東部、南、北、河北）、あいあいセンターの5か所において、当センターで初めてとなる未就業会員の相談会を開催し、延べ18名の相談があり、就業提供に努めました。

**10．社会奉仕活動**

　シルバー人材センターの基本理念である『自主・自立・共働・共助』の趣旨を理解し、地域社会に貢献するため令和2年3月16日に和歌山城公園にて除草、清掃の社会奉仕活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため市当局、その他情報を収集した結果、会員の安全を最優先に考え中止しました。

**11．会員懇親会開催の協力**

総務委員会が中心となり、会員発起による懇親会を、紀三井寺ガーデンホテル「はやし」において尾花市長を来賓に迎え、盛大に開催され親睦を図ることができました。懇親会には、役職員が全面的に協力し、事務局から参加者に県連合会から提供されたノベルティーを配布して会員紹介キャンペーン「1会員1人紹介運動」を展開し、協力を求めました。

**12．地域班活動の助成及び協力**

（1）42地区29班の地域班を対象に円滑な活動ができるよう、助成金の申請があった11

地区6班に対して助成しました。

（2）班会議等に、出席要請のあった地区に事務局から出席して、意見等を聴取、当セン

ター事業運営に役立てました。

（3）地域班9地区5班（楠見地区、木本地区、有功・直川地区、川永・山口・紀伊地

区、西脇・加太地区）で独自に企画したボランティア活動（清掃、除草作業74名が

参加）に協力、支援しました。

（4）地域班を通じ、会員紹介キャンペーン「1会員1人紹介運動」を展開し、会員入会の促進に努めました。

**13．地域班班長会議の開催**

　会員相互の連帯意識と親睦を基調に、センターと会員の緊密な連絡体制を整え、積極的意欲を持って事業効果を高めるとともに地域の発展に貢献するため、以下の会議を開催し地域班活動の問題点等を検討しました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 開催日 | 主な内容 | 開催場所 |
| 第1回 | 令和元年7月18日 | 1. 委嘱状交付（新任班長）
2. センターの現状について
3. １会員１人紹介運動について
4. ゴールド会員制度について
5. 地域班の役割について
6. 助成金の申請について
7. 未就業相談会の実施について
8. 「ときめき女性セミナー開催」について
9. その他

質疑応答 | 和歌山市勤労者総合センター4階　大会議室(1)(2) |

　※第2回地域班班長会議を令和2年2月28日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止しました。

**14．職群班活動の助成及び協力**

（1）施設管理班で独自に企画した活動に対し、全面的に協力しました。

令和元年8月3日に開催された「第51回 紀州おどり ぶんだら節」｢第16回 紀州よさこい祭り（おどるんや）｣同時開催会場で、会員が挿し木をして育てたハーブの苗（2鉢）と、センターの啓発用チラシをセットにして観客300名に無料配布するとともに普及啓発活動をしました。

なお、無料配布前に尾花和歌山市長、井上市議会議長、松本市議会副議長、仁坂和歌山県知事、宇治田実行委員会会長が激励にきてくださいました。

（2）職群班9班を対象に円滑な活動ができるよう、申請のあった5班に対して助成金の交付を行いました。

**15．職群班班長会議の開催**

会員の共働・共助を基本とした連帯意識と親睦を基調とした安全な作業遂行を促進することにより、事業効果を高めるとともに職群班の問題点などを検討するため、職群班班長会議を開催しました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 開催日 | 主な内容 | 開催場所 |
| 第1回 | 令和元年6月25日 | 1. センターの現状について
2. 職群班について（助成金の申請等）
3. その他
 | 和歌山市あいあいセンター4階　会議室第5 |

　※第2回職群班班長会議を令和2年3月13日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止しました。

**16．総務委員会の開催**

センター事業全般の課題を検討するため、以下のとおり総務委員会を開催しました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 開催日 | 主な内容 | 開催場所 |
| 第1回 | 平成31年4月22日 | 1. 会員継続を促進する制度（ゴールド会員）の創出について
2. 専門委員会規程の一部改正について
 | 和歌山市八番丁館2階　理事長室 |
| 第2回 | 令和元年7月12日 | 1. 副委員長の互選について
2. 今後の総務委員会の活動について
3. 地域班の合併について
 | 和歌山市あいあいセンター4階　会議室第5 |
| 第3回 | 令和元年9月25日 | 1. 配分金の改定について
2. 事業費の改定について
3. 公共施設会員就業基準の一部改正について
4. 会員懇親会について
 | 和歌山市　　　　　勤労者総合センター　2階　第2会議室 |
| 第4回 | 令和2年2月13日 | 1. 報告事項について
2. 今後の活動について
 | 和歌山市　　　　　勤労者総合センター　2階　第2会議室 |

**17．就業開拓委員会の開催**

　就業機会の確保と拡大を推進するため、以下のとおり就業開拓委員会を開催しました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 開催日 | 主な内容 | 開催場所 |
| 第1回 | 令和元年6月27日 | 1. 当センターの現状について
2. 未就業会員相談会の実施計画
3. 普及啓発活動
4. 企業訪問活動
 | 和歌山市あいあいセンター4階　会議室第5 |
| 第2回 | 令和元年11月28日 | 1. 実績報告
2. 未就業会員相談会実施報告
3. 普及啓発活動（営業活動）
4. その他
 | 和歌山市あいあいセンター4階　会議室第6 |

　※第3回就業開拓委員会を令和2年3月12日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止しました。

**18．安全・適正就業委員会の開催**

センター会員の安全・適正就業を推進するため、以下のとおり安全・適正就業委員会を開催しました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 開催日 | 主な内容 | 開催場所 |
| 第1回 | 令和元年6月25日 | 1. 安全・適正就業委員会委員の委嘱
2. 委員長、副委員長の互選について
3. 安全・適正就業委員会の役割について
4. 事故報告について
5. 安全・適正就業強化月間について

・安全・適正就業講習会について・安全・適正就業巡回パトロールの実施について・機械器具点検について1. 今後の事故防止対策について
2. その他
 | 和歌山市あいあいセンター4階　会議室第5 |

　※第2回安全・適正就業委員会を令和2年3月13日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止しました。

**19．年度別事故発生状況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 総件数 | うち就業中 | うち就業途上 |
| 傷害 | 賠償 | 計 | 交通事故 | 自己転倒 | 計 |
| 平成27 | 13 | 1 | 8 | 9 | 3 | 1 | 4 |
| 　　28 | 13 | 1 | 9 | 10 | 3 | 0 | 3 |
| 　　29 | 5 | 2 | 2 | 4 | 0 | 1 | 1 |
| 　　30 | 5 | 0 | 4 | 4 | 0 | 1 | 1 |
| 令和元 | 5 | 2 | 3 | 5 | 0 | 0 | 0 |

**20．地区安全対策員会議の開催**

令和元年7月30日に、和歌山市あいあいセンター３階会議室第2で、センター会員の安全就業を推進するため、地区安全対策員会議を開催しました。

**21．安全・適正就業強化月間の実施（７月１日～７月３１日）**

センターは「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、事故につながる危険な作業は受注しないなど、日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持するため、国が実施する「安全週間（7月1日から7月7日まで）」に合わせて7月を安全・適正就業強化月間と定め、以下のとおり実施しました。

　○安全・適正就業強化月間中（7/1～7/31）に、安全就業啓発用垂れ幕を和歌山市八番丁館東側に掲出し安全就業の啓発を実施しました。

　○会員を対象に、安全・適正就業講習会を開催しました。（7/25）

○安全・適正就業講習会受講会員に反射材を配布し、安全就業の啓発を行いました。

○職群班の協力で、安全・適正就業強化月間に合わせ、器材点検及び倉庫整理を実施しました。

**22．安全・適正就業講習会の開催**

　　日　　時　　　令和元年7月25日　午後1時30分

　　場　　所　　　和歌山市小人町29番地

　　　　　　　　　　　市男女共生推進センター（あいあいセンター内）６階 ホール

受講者数　　　会員61名（男性54名　女性7名）

　　講習内容　　　①「高齢者の健康維持・増進について」

　　　　　　　　　　　　講師　和歌山市健康局健康推進部地域保健課

　　　　　　　　　　　　　　　健康づくり班　保健師　寛座　有里奈氏

②「高齢者の交通事故防止について」

講師　和歌山県警察本部 交通企画課 交通安全教育係

山﨑氏、西山氏

**23．安全・適正就業巡回パトロール**

安全・適正就業委員会委員、安全・適正就業推進員及び事務局職員により、随時に就業場所を巡回し安全・適正就業のチェック、並びに安全・適正就業の啓発を行いました。

**24．公平な就業機会の推進**

シルバー人材センターの基本理念である共働・共助の精神に基づき、より多くの会員に適正かつ公平に就業機会の場を提供できるように、公共及び公社・公団関係の長期継続就業会員に「公益社団法人和歌山市シルバー人材センター公共施設会員就業基準」を適用し、より多くの会員に就業機会の場を提供しました。

**25．要請活動**

令和元年9月2日、和歌山市議会議長に「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望について、理事長、理事3名、事務局3名が要請活動を実施しました。

　令和元年10月10日、和歌山市長に「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望について、理事長、理事4名、事務局2名が要請活動を実施しました。

**26．全シ協会長来訪**

令和元年11月22日に、（公社）全国シルバー人材センター事業協会会長　金子順一氏の来訪があり、当センターが和歌山市より指定管理者の指定を受けて管理運営している西庄ふれあいの郷で、県連合会の中田会長、下専務理事を交え、当センター理事長、役職員、会員で現状を説明し、協議しました。

**27．職業紹介事業**

「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」（昭和61年10月1日に施行）第47条の規定に基づき、臨時的な雇用の斡旋である職業紹介及び職業相談を実施しました。

**28．労働者派遣事業**

　県連合会と連携の下、以下のとおり実施しました。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 派遣労働登録会員（人）　 | 受注件数（件） | 契約金額（円） | 就業実人員（人） | 就業延人員（人日） |
| 男 | 女 | 合計 | 公共 | 民間 | 合計 | 公共 | 民間 | 合計 |
| 110 | 20 | 130 | 4 | 14 | 18 | 6,123,477 | 8,151,518 | 14,274,995 | 87 | 2,345 |

**29．高齢者活用・現役世代雇用サポート事業**

サービス業、介護、育児等の人手不足分野・現役世代を支える分野の仕事の開拓活動をするためコーディネーター3名を配置し、開拓活動を行いました。

|  |  |
| --- | --- |
| 新規受注の受付　　　　　　　　　　 | 1,379件 |
| 仕事の問い合わせなどの対応　　　　 | 1,042件 |
| 企業等への訪問　　　　　　　　　　 | 38件 |
| 既存会員への説明及び相談　　　　 | 1,041名 (うち、男性673名・女性368名) |
| 新規入会希望者への説明及び相談　 | 465名 (うち、男性 247名・女性218名) |

**30．会員表彰**

令和元年6月14日　和歌山商工会議所4階大ホールにて、正会員として10年以上にわたり在籍し、毎年1回以上就業された方々27名に対し永年表彰を、また役員として2期以上在任し、その職を退かれた方々5名に役員表彰を、それぞれ理事長から表彰状と記念品を贈呈し、功績をたたえました。